

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立八幡小学校

1 課題

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた確かな学力の定着
- 言語への関心を高め、確かな学力を育む指導と評価の研究

2 課題解決の具体策

- ① 学校全体及び学年・学級の実態を踏まえた日常的・特設的な取組により、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- ② 自分の考えを広げ深める交流の場により、思考力や読解力の向上を図る。多様な評価活動により、見通しをもった言語活動に取り組ませる。

3 取組の概要

○学校全体の取組

- ・朝読書（週2回、担任1回共に）～読書意欲の向上を図ると共に図書室等の環境整備に努めた。
- ・朝学習（週2回）と朝の歌声活動（週1回）～朝の10分間テストを実施し必要に応じて個別支援を行う。つまずきを見つけ基礎基本の定着を図る。
- ・算数TTの形態を工夫～単元や小単元による個別・習熟度別の支援を行う。
- ・校内研究を通しての授業改善～系統性を踏まえた繰り返し指導の充実等
- ・望ましい学習態度の育成～学習常規の再確認と併せて、挨拶等の礼儀指導を行う。
- ・家庭学習の啓発～家庭学習のすすめを作成し学級指導後、保護者への啓発を行う。
- ・冬季チャレンジ教室～冬季休業中4日間、国語、算数を中心に特別支援を行う。



- 学年・学級の取組…他校の実践を紹介し、学年・学級で日常や特設の取組を計画・実践・交流（別紙）
- ・日常の取組～漢字・計算ドリル、音読カード、スピーチ活動、ノート指導など
 - ・特設の取組～放課後学習支援、チャレンジテスト、個人選択習熟度別学習など

4 成果と課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の向上をめざした取組は、学校全体・学年・学級で計画・実践することで、児童の意欲向上につながり、学習理解に成果がみられた。
- 支援を要する児童への時間確保の工夫や、児童に満足感が得られる深化・発展的な授業展開が必要である。